

目黒区美術館コレクション展

# 越境者たち



ビヨンド

ザ

ボーダーズ

## BEYOND THE BORDERS



### 2020 2.15 sat - 3.22 sun

午前10時-午後6時 (入館は午後5時30分まで)

月曜休館 ただし2月24日(月・休)は開館、翌2月25日(火)は休館

一般 700 (550)円、大高生・65歳以上 550 (400)円、中学生以下無料

\*障がいのある方とその付添者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金

\*目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります(他の割引との併用はできません)

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館



同時開催

### 山下新太郎の ファミリー ポートレート



Meguro Museum of Art, Tokyo  
目黒区美術館

図版上から

諏訪直樹

川村清隆

星野眞吾

山下新太郎

◀無限連鎖する絵画 Part2 No. 22-26▶ 1989 (平成元年)年 / アクリル・キャンバス / 目黒区美術館蔵

◀高砂▶大正期~昭和初期 / 油彩、銀箔・絹 / 目黒区美術館蔵

◀喪中の作品 (赤)▶ 1965 (昭和40)年 / 岩絵具、箔・和紙 / 目黒区美術館蔵

◀山下みね像▶ 1926 (大正15)年 / 油彩・キャンバス / 目黒区美術館蔵

目黒区美術館は、近現代美術の流れとその特徴を理解するための体系的なコレクションを形成していくという基本方針のもと、まだ美術館が開館準備室だった1981年から、主に日本人画家と欧米との関わりに焦点をあてた作品収集を行ってきました。そして1987年の開館以降は、さまざまな視点で近現代美術を切り取り、展覧会としてまとめると同時に、毎年「目黒区美術館コレクション展」という形でコレクションを紹介しています。この度は、「越境者たち BEYOND THE BORDERS」と題し、絵画の分野や材質技法にまつわる様々な境界を越えて新たな芸術表現を目指した画家たちの作品を紹介します。

## 第1章「諏訪直樹 vs 川村清雄」

額縁を超越して無限に展開する空間表現を目指した諏訪直樹(1954-1990年)と、明治初期より西洋渡来の新技法である油彩に挑み、日本の近代絵画の新たな地平を拓いた川村清雄(1852-1934年)の、二人の作品を対峙させます。

諏訪に関しては、「諏訪直樹 没後30年 連鎖企画」として、不慮の事故によりこの世を去った諏訪の没後30年を記念して、2019年から2021年にかけて、当館のみならず、宇都宮美術館、三重県立美術館、千葉市美術館においても諏訪の特集展示が開催されます。



## 第2章「パンリアルの挑戦」

戦後に、抽象などの先鋭的な表現を日本画の技法により実現する「膠彩表現」で日本画を革新した「パンリアル美術協会」の画家たち、星野眞吾(1923-1997年)、三上誠(1919-1972年)、下村良之介(1923-1998年)、不動茂弥(1928-2016年)、野村耕(1927-1991年)、木村嘉子(1933年-)の作品をとりあげます。

1. 諏訪直樹 <無限連鎖する絵画 Part2 No. 13-31> 展示風景(目黒区美術館)
2. 川村清雄 <村上彦四郎(村上義光 銅鑄旗奪還図)> 大正期~昭和初期  
油彩、金箔・絹(二曲一雙屏風)
3. 三上誠 <作品> 1964(昭和39)年頃 顔料・木  
すべて目黒区美術館蔵



### 関連催事 1. 舞踏パフォーマンス「肉体と平面」

諏訪直樹と川村清雄の作品の前で、工藤丈輝氏による舞踏のパフォーマンスを行います。

日時: 3月20日(金・祝) 午後2時~2時30分  
場所: 2階 展示室A(予定)  
演者: 工藤丈輝氏(舞踏家)

参加方法: 展示室内での作品の安全が確保される範囲内の収容人数に限り、当日有効の観覧券でどなたでもご覧いただけます。状況に応じて、入場を制限する場合があります。※当日の公演中は、展示室Aの作品をご観覧いただけません。

### 関連催事 2. 大人のための美術カフェ「越境し、連鎖する絵画たち」

この度の展覧会に関連し、担当学芸員が作品や作家について楽しくおしゃべりします。

日時: 3月14日(土) 午後2時~3時  
集合場所: 美術館1階 ワークショップ室  
定員: 当日先着50名 ※参加には、当日有効の展覧会の観覧券が必要です。



### 同時開催 山下新太郎の ファミリーポートレート

戦前にフランスに留学した山下新太郎(1881-1966年)は、当館の館蔵作家の一人です。2018年度、山下の三女である渡邊峯子氏より、山下の作品20点と松田文雄の作品1点の計21点の作品を寄贈いただきました。その中には、峯子氏をはじめ、身近な人々を描いた作品が多く含まれています。今回は「山下新太郎のファミリーポートレート」と題し、山下が親しい人々に向けた眼差しを追います。ご持参のスマートフォンより、音声ガイドをご利用いただけるサービスの提供を予定しております。イヤホンやヘッドホンをご持参下さい。

4. 山下新太郎 <峯子像> 1942(昭和17)年 油彩・キャンバス 目黒区美術館蔵

至 中目黒駅  
至 大鳥神社  
至 大崎  
至 目黒川  
至 池袋  
至 目黒駅  
至 池袋  
至 池袋  
至 池袋

目黒区美術館  
田道小学校 入口バス停  
目黒川  
案内板  
テニスコート  
目黒区民センター  
遊歩道  
権之助坂 バス停  
JR山手線  
東急目黒線 地下鉄南北線・三田線  
西口  
至 池袋  
至 池袋  
至 池袋  
至 池袋

詳細マップは  
こちらから

□ JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩10分 □ 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩20分 □ 東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分 ※目黒区民センター隣接 ※当館には来館者専用の駐車場はありませんので、電車・バスなど公共交通機関をご利用ください。\*お車で越しの場合は隣接の目黒区民センターの駐車場(有料)をご利用ください。

Meguro Museum of Art, Tokyo  
**目黒区美術館**  
〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 tel.03-3714-1201  
https://www.mmat.jp  
★メルマガ会員登録中 https://service.sugumail.com/mmat/